

JAPAN pavilion

産業廃棄物リサイクルと再生燃料による温室効果ガス 及び化石燃料使用量の削減

リサイクル・産業廃棄物処理業は サーキュラーエコノミーの実現と 環境の創造に貢献しています。



温室効果ガス削減

脱化石燃料

循環型社会

サーキュラーエコノミーの概念図※

※オランダ「A Circular Economy in the Netherlands by 2050-Government-wide Program for a Circular Economy」
(2016)より環境省作成

リサイクル処理によって、温室効果ガス排出量・化石燃料使用量の削減に貢献します。

リサイクル

温室効果ガス排出量の少ない
産業廃棄物のリサイクル処理



リサイクル前

再生燃料に
リサイクル



リサイクル後

効果



単純焼却処理

排出量を

97%削減



リサイクル処理

燃料代替

再生燃料による化石燃料使用量の削減



化石燃料を使用



再生燃料を使用

効果

化石燃料の使用量を削減

産業廃棄物リサイクルによる温室効果ガス排出量削減と循環型社会構築

1. 温室効果ガス排出量の削減 廃溶剤等からの再生燃料製造



廃溶剤

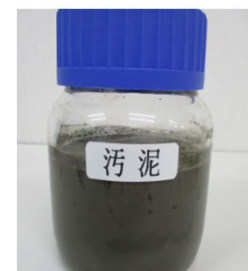


再生燃料化施設



再生燃料

2. 循環型社会の構築 汚泥からのセメント原料製造



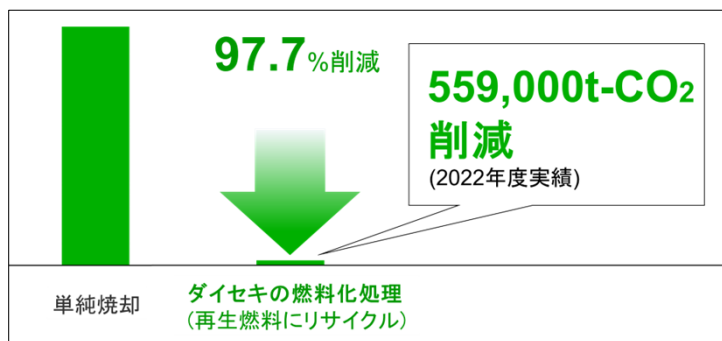
汚泥



乾燥施設



セメント原料



リサイクルによる温室効果ガス排出量削減効果※

※廃溶剤等を単純焼却処理した場合と、再生燃料にリサイクル処理した場合における温室効果ガス排出量の比較

セメント原料の出荷量

638,000t※
(2022年度実績)

約63.8万tのセメント原料は国内でセメント原料として使用される汚泥の約22.2%に相当する

※ ダイセキグループの出荷量

産業廃棄物リサイクルによる化石燃料使用量の削減、及びサーキュラーエコノミーの推進

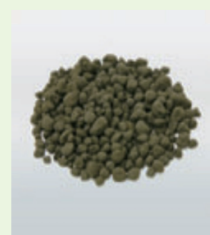
1.再生燃料による化石燃料使用量の削減効果

	製造販売実績 (2022年度)	同等カロリーの 化石燃料を代替
再生重油	47,000kL	A重油 39,000kL
補助燃料	197,000t	石炭 130,000t (※)

※ 販売先ごとに求められる製品規格を基にして算出した換算値

2.ダイセキグループの2022年度における主なリサイクル資源の出荷量

リサイクル資源	2022年度の出荷量	代替となる天然資源
セメント原料	63.8万t	石灰石
再生燃料(再生重油、補助燃料)	23.9万t	重油、石炭
有用金属等	0.9万t	金属資源、薬剤 等
再生鉛	1.2万t	鉛
石膏ボード原料	9.6万t	石膏



セメント原料



再生燃料



有用金属等



再生鉛



石膏ボード原料